

平成28年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会(第1回)【概要】 (案)

日時：平成28年7月28日(木) 午前10時から正午まで
場所：千葉県教育会館6階 会議室604

1 出席委員(敬称略・名簿順)

鈴木 幸子, 鈴木 政男, 大森 英一, 古川 聖也, 柴内 靖, 友杉 修三, 雑賀 ますみ, 佐久間 勝彦,
東條 三枝子(委員長), 齋藤 明(副委員長), 森山 理恵, 加藤 珠似, 小林 公人, 前田 恒久

2 次第

- (1) 開会のことば
- (2) 県教育委員会あいさつ
- (3) 委員紹介
- (4) 委員長, 副委員長選出
- (5) 報告

- ①平成28年度千葉県公立高等学校入学者選抜の結果について
- ②平成28年度千葉県公立高等学校入学者選抜における中学校及び高等学校からの意見について
- ③平成28年度千葉県公立高等学校入学者選抜における学習成績分布表等の公表について
- ④平成28年度千葉県公立高等学校入学者選抜における選抜・評価方法の公表について
- ⑤平成29年度千葉県公立高等学校第1学年入学者選抜要項について
- ⑥平成29年度千葉県公立高等学校「前期選抜」, 「後期選抜」等の検査の内容・出題方針について
- ⑦その他

(6) 協議

- ①平成29年度以降の千葉県公立高等学校入学者選抜方法等の在り方について
- ②平成30年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程(案)について
- ③その他

(7) 閉会のことば

3 協議内容

①平成29年度以降の千葉県公立高等学校入学者選抜方法等の在り方について

- ・平成28年3月に実施した受検動向調査の結果をもとに協議を行った。
- ・昨年度の動向調査と比較して, 大きく変わったところがあれば伺いたい。
→前期選抜, 後期選抜の受検において, 「前・後期で違う学校・学科を受検する予定だった者」の割合が増えている。また, 「前期で専門学科, 後期で普通科を受検した者」の割合が増えている。
- ・このデータでは, 3年生あるいは保護者が複数回の入試を求めている根拠にはならない。
→26・27年度の生徒の動向調査なので, これを分析し, 意見を頂きながらさらなる調査の検討を進めていく。
- ・中学校長会でも調査したが, やはり一本化が望ましい。2回入試があることで, 2月に授業ができず, 子どもたちの学力等を考えるとデメリットになる。入試の時期を遅らせて, 授業をたくさんできるようにしてもらいたい。
- ・高校も3学期の教育課程に支障が出ているという意見が多いので, もっと何かいい方法を考えていく必要がある。
- ・見直しをしていくためには, どのような調査をさらに進めていけばよいのかということにも視点を向ける必要がある。
- ・子どもたちにとって2回チャレンジできるというのは, 確かにいいことだと直感的に感じているのはわかるが, 入る人数が決まっている中で, 1回の入試であれば本来入れた生徒が, 2回受検したことによって希望とは違う学校を選んでしまうこともある。それはデメリットではないか。やはり今年度中に方向性は示して, 何年後に一本化をしていくということも話し合う必要がある。

②平成30年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について

・平成30年度の日程については、案A（連休後に前期選抜の検査日を設けた）と案B（連休前に前期選抜の検査日を設けた）の二つをお示しする。

・この日程はいつ発表になるのか。

→この協議会の意見を参考に検討し、12月中旬前後に発表予定である。

・根本的に一本化に向けて考えていくと、今年の12月までには30年度の本化に向けてはもう決まっている状態でないスケジュールが決まらないということか。

→大きな変革になると、周知期間として3年は必要であると考えてもらいたい。

・中学校側としては入試の時期を遅らせてもらいたいとお願いしている。（B案）であると、工業高等専門学校の発表や確約書の締め切りなどで迷惑をかけてしまうことにはならないか。

→いろいろと意見をいただいたうえで、総合的に判断して提案をさせていただきたい。

・高校入試対策委員会に持ち帰って検討したいが、（B案）はやはり早すぎるという印象がある。（A案）だと遅すぎる印象もあるので、さらなる修正案みたいなことも検討したい。

・高校の立場からは正直苦しい。入学候補者説明会や2次募集などで日程がきつい。やはり2回入試を実施することによる矛盾（高校は入試後の日程が詰まっているので少しでも前に入試の時期をもっていきたい。他方で中学校は授業時間を確保するため入試の時期を遅くしてほしい。）だと思う。

・連休後の試験で、1日空けて実施という検討もしていただけるとありがたい。

・前期選抜は検査後、発表まで3日あるのはいいが、後期選抜は発表まで1日繰り上げられるのではないか。

③その他について

・今年度は本協議会が2回ということだが、2回では足りないのではないか。

・中学卒業生は190人減に対して、募集定員は200人減、私立と合計で220人では、大幅に募集定員を減らしすぎではないかと心配である。その経緯あるいは議事録を見せてもらいたい。

→関係各課で協議させていただく。

・一本化の話が出ているが、もしその場合、いつどこでその話し合いを始めたらいいか教えてほしい。

→今年の協議会では、本格的に論議を始めるということは考えていない。今年の協議会を踏まえて、来年度以降、必要であれば本格的に協議を進めていく。

・一本化を実施した県教委、都教委はどのような判断をしているのか、メリット・デメリットがどのようなものであったか、調査してもらいたい。

・高校の立場からは少しでも早く検討を始めてもらいたい。

・一本化に向けての区切りはあるか。いつまでとか区切りを決めてはつきり決めた方がいいのではないか。

・外国につながる子どもたちを支えている代表の方に意見を聞くべきではないか。

・高等学校教職員組合の調査では、高校教職員組合員の90%が学力検査の2回実施に反対している。学力検査の2回実施で授業がかなりつぶれる。進級がかかっている生徒に手をかけられない。